

| | |
|------------------------|--|
| 授業科目名 | 教育社会学演習I |
| 科目番号 | CB25312 |
| 単位数 | 1.0 単位 |
| 標準履修年次 | 3 年次 |
| 時間割 | 秋AB 火4 |
| 担当教員 | 徳永 智子 |
| 授業概要 | 教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会学的な観点から分析する力を身に着ける。階層と教育、若者とトランジション、グローバリゼーションと教育、ジェンダー・セクシュアリティと教育、若者文化、質的研究方法など、教育社会学が扱う幅広いテーマや方法論への理解を深めていく。毎回、受講生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。 |
| 備考 | 社会教育主事 対面 |
| 授業方法 | 演習 |
| 学位プログラム・コンピテンスとの関係 | |
| 授業の到達目標（学修成果） | 教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会学的な観点から分析する力を身に着ける。階層と教育、若者とトランジション、グローバリゼーションと教育、ジェンダー・セクシュアリティと教育、若者文化、質的研究方法など、教育社会学が扱う幅広いテーマへの理解を深めていく。毎回、受講生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。 |
| 授業計画 | <p>受講生の研究関心に合わせて、家族、学校、階層と教育、教育問題、マイノリティと教育、若者文化など、教育社会学が扱う幅広いテーマや方法論への理解を深めていく。毎回、受講生が論文（『教育社会学研究』・『子ども社会研究』・『異文化間教育』）に基づく報告をし、全員で討論する。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 教育における質的研究方法 第3回 家族と社会化 第4回 学校と子ども文化 第5回 階層と教育 第6回 教育問題 第7回 地域と教育 第8回 ジェンダー・セクシュアリティと教育 第9回 グローバリゼーションと教育 第10回 若者とトランジション</p> <p>上記の授業内容は、受講者の数や関心によって変更する可能性がある。</p> |
| 履修条件 | 教育社会学 を受講していることが望ましい。 |
| 成績評価方法 | 授業への貢献・積極性、発表、課題・最終レポートなどを総合的に判断し、評価する。 |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | 全員、授業前までに指定論文を精読し、ディスカッションの準備をするなど、十分な予習の時間が求められる。 |
| 教材・参考文献・配付資料等 | <p>以下は参考文献です：</p> <ol style="list-style-type: none"> 飯田浩之・岡本智周編（2018）『教育社会学』ミネルヴァ書房。 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美（2016）『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣。 日本教育社会学会編『教育社会学研究』東洋館出版社。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| 教材・参考文献・配付資料等 | <p>4. 日本子ども社会学会『子ども社会研究』内外出版。</p> <p>5. 異文化間教育学会『異文化間教育』国際文献社。</p> <p>6. 日本教育社会学会編(2018)『教育社会学事典』丸善出版。</p> <p>その他、参考文献は適宜授業中に指示する。</p> |
| オフィスアワー等(連絡先含む) | 水曜11:30-13(事前のアポイントをとること) tomokot human.tsukuba.ac.jp(を at に) |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等) | 学生による発表、ディスカッション、質疑応答、グループワーク等を取り入れた、双方向型の授業を行うため、学生の積極的な参加が求められる。 |
| 他の授業科目との関連 | |
| ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA) | |
| キーワード | 社会学的想像力, 社会調査, 質的研究 |